# アルゴリズムとデータ構造　演習第 12 回

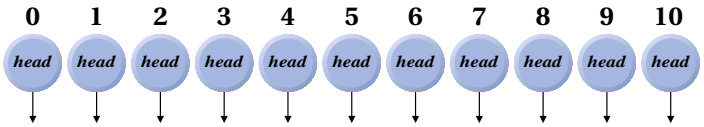
## ハッシュ

名前：
学籍番号：

このようなハッシュ関数 hash() と二重ハッシュ関数 hash2() がある。

```
int hash(char c){
  return (int)(c-64)%M;
}
int hash2(char c){
  return (int)8-(c-64)%8;
}
```

(1) 次のデータのハッシュ値を求め、 分離連鎖法でハッシュしたときにできるハッシュ表を書きなさい。 表の長さ M は 11 とする。




key WHITECHOCOLATE
hash

**M=11**

(2) 次のデータのハッシュ値を求め、 線型探査法でハッシュしたときにできるハッシュ表を書きなさい。 表の長さ M は 9 とする。

0 1 2 3 4 5 6 7 8

key PUDDING
hash

**M=9**

(3) 次のデータのハッシュ値を求め、 二重ハッシュ法でハッシュしたときにできるハッシュ表を書きなさい。 表の長さ M は 9 とする。

0 1 2 3 4 5 6 7 8

key PUDDING
hash1
hash2

**M=9**